



# 普及センターだより

## 西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ②⑧

### ～集落営農組織紹介～

発行日

2023.1.1

第174号

### 笠田東営農組合（三豊市豊中町笠田）

～集落営農を維持・発展させるため、後継者育成に取り組む！～



笠田東営農組合は、平成 16 年に豊中町笠田地区内の有志 5 名による農業機械の共同利用を経て、平成 25 年に地元自治会の農家を中心に集落営農活動を開始しました。現在は組合員 19 名（平均年齢 67 才、オペレータ 3 名）にて水稻の受託作業、小麦栽培及びキャベツの作業支援を中心に活動しています。

数年前から、構成員の高齢化に加えて活動拡大による労力不足が問題となっており、「作業の効率化とともに労力の確保を図るため、若いオペレータを育てては？」との意見が組合内で出されていました。そこで、本年は、県のリクルート活動支援事業を活用して、30 代の後継者 2 名に、田植機やコンバインの操作を中心とした実地研修を行い、後継者育成に取り組む活動を行いました。

研修では、組合長が講師となり、農業機械の操作方法に加え、ほ場への入出方法、安全確認などの農作業に慣れてもらうことや普及センターによる生育診断方法などの講習を行いました。

組合長やオペレータは、「作業の効率に加えて仕上がりの見た目も重要。これからも農業機械に携わる機会を多く持ち、技術を習得して、将来を担う人材として育ててほしい」と、2 人の成長に大きな期待を寄せていました。

# 令和5年10月から消費税のインボイス制度 (適格請求書等保存方式)が始まります

## インボイス制度のポイント

- 消費税は消費者が負担しますが、納税は事業者が行います。
- 事業者は、売上げに係る消費税額から仕入れに係る消費税額を差し引いた額を納税します。(仕入税額控除)
- 令和5年10月から、仕入税額控除を行うためには、原則、仕入先にインボイス(適格請求書)を発行してもらい、保存する必要があります。
- このインボイスは、税務署長の登録を受けた課税事業者のみが発行できます。(免税事業者は発行できません。)

### 【従来の区分記載請求書】

請求書	
〇〇(株)御中	(株)□□□□
〇月〇日分	請求金額 43,600円
〇月〇日 割ばし	550円
〇月〇日 牛肉 ※	5,400円
⋮	⋮
	合計 43,600円
※は軽減税率対象	(10%対象 22,000円) (8%対象 21,600円)

### 【インボイス】

請求書	
〇〇(株)御中	(株)□□□□
	<b>登録番号</b> (T12345…)
〇月〇日分	請求金額 43,600円
〇月〇日 割ばし	550円
〇月〇日 牛肉 ※	5,400円
⋮	⋮
	合計 43,600円
<b>適用税率</b>	10%対象 22,000円 <b>内税 2,000円</b> 8%対象 21,600円 <b>内税 1,600円</b>
※は軽減税率対象	<b>消費税額等</b>

赤字が従来区分記載請求書との変更点

## インボイス制度が開始されるに当たり、農林水産関係事業者は 次のような対応の検討が必要になります。

- |       |         |  |
|-------|---------|--|
| 課税事業者 | 売り先との関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○インボイス(適格請求書)を発行する事業者となるためには、税務署長の登録を受ける必要があります。</li> <li>○売り先の求めに応じて、インボイスを発行する必要があります。</li> </ul>   |
|       | 仕入先との関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○仕入税額控除をするためには、原則として、仕入先からインボイスを発行してもらい、保存しておく必要があります。</li> <li>○仕入先が免税事業者の場合は、インボイスを発行してもらえないため、仕入れ税額控除ができなくなることによる影響を踏まえて、<b>仕入先と価格面を含め適正な取引条件等を話し合っておいてください。</b></li> <li>※仕入先が免税事業者等のインボイス発行事業者でない場合であっても、制度開始後6年間は、一定の仕入税額控除ができる経過措置が設けられています。</li> </ul>                                    |
| 免税事業者 | 売り先との関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○インボイスを発行することができません。</li> <li>○売り先が消費者、免税事業者、簡易課税事業者である場合、卸売市場や農協等への委託販売を行う場合は、インボイスの発行を求められません。</li> <li>※農協等の場合は、無条件委託かつ共同計算方式の委託販売に限ります。</li> <li>○売り先が課税事業者である場合は、売り先が仕入れ税控除をできなくなるため、売り先と価格面を含め<b>適正な取引条件等を話し合っておいてください。</b>なお、今後の経営発展を考えて、課税事業者(簡易課税事業者も含む)への変更も選択肢の一つとして考えられます。</li> </ul> |
|       | 仕入先との関係 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○特段の対応の必要はありません。</li> </ul>   |

この資料は、令和4年7月現在の農林水産省の資料に基づいて作成しています。

消費税インボイス制度の詳細は、「国税庁ホームページ 特集インボイス制度」で確認することができます。



# 香川のランンキュラス

## 「てまりシリーズ」を 紹介します!



「とても魅力的」という花言葉のとおり、幾重にも重なる花びらが美しいランンキュラスは、近年切花用として人気が高く、全国的にも需要が拡大しています。本県は全国2位の生産県で、県農業試験場が育成した「てまりシリーズ」は県内各地で栽培され、管内では21名の生産者で105a栽培されており、今年は3名の方が新たに栽培を開始しました。

### てまりシリーズについて

県が育成した「恋てまり」、「ゆずてまり」等に、現地系統選抜の「茜てまり」、「桜てまり」等を加えた10品種が現在流通しておりカラーバリエーションが豊富です。また、塊根は、県が優良種苗として茎頂培養したものを供給しているため、ウイルス病の発生が少なく栽培しやすいほか、豊産性で、日持ちするのが特徴です。

恋てまり



ゆずてまり



### ランンキュラスの栽培について

8月下旬から1か月間、塊根を冷蔵処理し芽出しをした後、10月上旬に定植することにより、11月下旬～4月上旬までの長期間にわたる出荷が可能になりました。

12月以降は加温が必要ですが、5℃を下回らない程度の加温でよいので、燃料費の負担が少なくなります。



11月の開花状況

中村 泰之さん

定年退職後、ハウスを新設し、今年から栽培を開始しました。定植から開花までが早く、花も大きくて綺麗ですね。

### ランンキュラスの作型

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
●		○									
■		■									
×		△									
塊根冷蔵		定植		収穫				塊根養成		塊根堀上	

県とJAでは年間5回程度勉強会を開催しており、現地巡回も定期的に実施しています。ランンキュラスを栽培してみたい方はぜひ普及センターにご相談ください。

### 香川産のランンキュラスを お部屋に飾りませんか!

管内では、県産花きを積極的に取り扱う「香川県産花き取扱協力店」(QRコードで確認)や観音寺ふれあい産直市、Aコープハウナン産直市等で購入できます。



### 「第6回全国高校生花いけバトル栗林公園杯2022」が開催されます!

高校生が、花をいけることを楽しみ、瑞々しい感性と創造性を花で表現する「全国高校生花いけバトル」が令和5年1月22日(日)にレクザムホール(高松市)で開催されます。

大会には、JA三豊花卉部会とJA豊南地区花卉部会も協賛し、管内で生産された輪ギク、マーガレット、デルフィニウム、ダリア、ランンキュラス等が使われる予定です。

ぜひYouTubeのLIVE配信でお楽しみください。



# 受章(賞)おめでとうございます

## 黄綬褒章 吉田 哲士さん 三豊市仁尾町

2022年秋の褒章で、仁尾町の吉田哲士さんが黄綬褒章を受章されました。

吉田さんは、JA香川県果樹研究同志会の会長を歴任され、本県果樹産地の発展に寄与されるとともに、地元果樹産地を次時代に受け継ぐため、ブンタンの新品種やレモンの産地化に注力されたほか、最近では、新たにアボカドの栽培にもチャレンジされています。

「先輩たちが作ってきた歴史や、集落の皆さんのおかげで今までやってこられました」と、受章の喜びを語っていただきました。



## 第86回 香川県畜産共進会

### ◆肉牛の部 1区(黒毛和種)

農林水産大臣賞・  
県知事賞

近藤 政三さん  
(三豊市)



### ◆肉豚の部

農林水産大臣賞・  
県知事賞

堀口 好子さん  
(観音寺市)



### ◆肉用種牛の部1区(7~12カ月未満) 中国四国農政局長賞・ 県知事賞

富田 敏弘さん(観音寺市)

## 女性農業者が人材育成・仲間づくりのコツを学ぶ

11月25日、当センターにおいて「女性農業者スキルアップ研修会」を開催しました。研修会は、「人材育成と仲間づくり」をテーマにライフデザインパートナーズ(株)代表取締役の浅川智仁氏を講師として、オンライン方式により実施しました。

コミュニケーションを図りながら相手に話をするためには、「何を伝えるか」よりも「どのように伝えるか」が重要であり、「見た目(その場に相応しい服装やあいづち等)」や「声のトーン(明るい声等)」に注意が必要であることを学び、グループワークで実践しました。



また、人材育成として、「人の心は、承認してくれる人に向けていくので、存在(居てくれること)と変化(成長過程)を承認することが大切である」ことや、「期待し続けることで相手の成長を促す」ことも学びました。

講演終了後には、女性農業者グループ「みとよgreenふぁーむ」の活動紹介のほか、出席者が4人のグループに分かれて将来の目標や日頃の悩みなどを話し合い、交流を深めました。

講演で学んだ会話のコツを実践しながらの意見交換会は、時間を超過するほど盛況でした。

